

## 2022年度(第6期) NPO法人ワネッツ 決算短信

2023年4月 NPO法人ワネッツ 事務局

お問い合わせ 事務局 岩崎 (090-5170-9495)

NPO法人ワネッツ(法人番号321000500966)では、2022年度(第6期)の決算を行いました。

### (法人運営を取り巻く状況)

法人としての信頼性を向上させる等のため、2022年12月にご寄付頂いた方が税性面で有利となる、NPO法人認定格を得ました。これは、福井県で5番目、嶺南地方では初という栄誉となります。

また、年度中の事業件数もコロナ禍で停滞していた事業件数も年間10件に復活させ、フィールドで行う事業を中心として実施し、**内4件は報道等公表される**など、成果を収めました。

一方で、会員の減少、NEATR隊員の高齢化等、従来からある構造的な課題について、努力はしているものの、成果を得るには至りませんでした。この構造的課題については、**今後とも取り組む必要があります**

### (貸借対照表・右上段の図)

資産の部について、普通預金には福邦銀行普通口座、ゆうちょ銀行普通口座の他に、ゆうちょ銀行振替預金口座も含まれています。その他の資産はありません。

負債の部では、来年度の会費を前払いいただいた4名の方の前受会費があります。その他、未払金等はありません。

前期末正味財産から、今年度の正味財産減少額を差し引いた**907,859円が2023年度への繰越正味財産**となりました。

資産の部		負債の部	
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
現金	0	未払金	0
預金	949,859	借入金	0
定期預金	0	前受会費	42,000
未収金	0	<b>【長期負債】</b>	
<b>【固定資産】</b>		長期借入金	0
有形固定資産	0	退職給与引当金	0
無形固定資産	0	<b>正味財産の部</b>	
その他資産	0	前期繰越正味財産	1,348,228
長期前払費用	0	当期正味財産増加額	-440,369
		次期繰越正味財産額	907,859
<b>資産の部 合計</b>	<b>949,859</b>	<b>負債/正味財産の部</b>	<b>949,859</b>

科目	金額	科目	金額
<b>計上収益</b>		<b>人件費</b>	<b>1,057,000</b>
受取会費	564,000	(内評価支出)	1,049,000
受取寄付金	715,118	事業支出	3,785,384
事業収入	3,090,250	(内評価支出)	1,891,000
(内評価収入)	190,300	会議費	109,760
その他収益	12	(内評価支出)	2,700
物品寄付評価収入	0	旅費	23,520
労務提供評価収入	1,057,600	(内評価支出)	8,100
<b>計上収益計</b>	<b>5,426,980</b>	組織活動費	309,801
		(内評価支出)	9,800
<b>計上費用計</b>	<b>5,867,349</b>	事務費他	577,780
特別損失	0	(内評価支出)	0
<b>差引正味財産</b>	<b>-440,369</b>	<b>計上費用計</b>	<b>5,867,349</b>

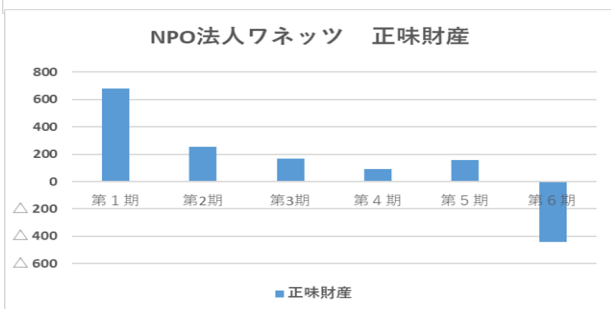
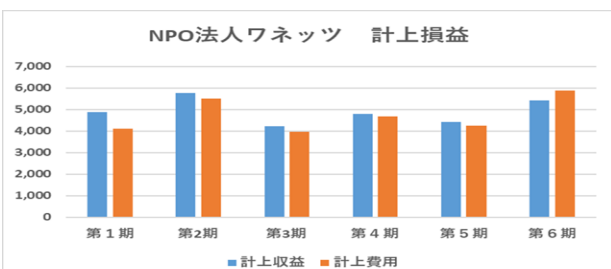
### (損益計算書・上下段の図および左図)

計上収益が5,426,980円、計上費用が5,867,349円となり、差し引き**440,369円の差引正味財産の減**となりました。收支均衡の理念のもと、フィールドでの事業を増やすことで、交通費等の費用が発生し、計上費用が増加したことによるものです。

なお、費用内訳表に「(内評価費用)」とあるものは、**ボランティア活動の会計規則に基づく正当な評価費用**で、実際の緊急時のボランティア活動も同様に処理します。

計上損益を会計期別でみてみると、第6期が過去最大の計上費用となっておりますが、これは上述の説明のとおりです。計上収益は、過去2番目ですが、過去最大の第2期は受託した防災基礎研修事業の収入が大きく寄与したからです。

結果的に、年次正味財産はマイナスとなりましたが、これは適正な繰越正味財産へもっていくための過程となっております。



### (収支分析・右図下)

収入につきましては、もっとも多く占めるのが事業収入で、ほぼ収入の半額以上を占めており、第6期は前述のとおり過去2番目に収入が多い年度となりました。事業支出を除く支出については、人件費が半分程度となっておりますが、これは役員会の月例開催等による人件費(評価支出)の増等によるものとなっております。

ここでは、事業費の分析は行いませんが、別途役員会決定する決算および会計審査報告書にて公開します

### (次年度に向けて)

ご寄付いただく方の人数が減ってきており、認定格の維持のため、アウトカムを設定して取り組みます。このことを含め構造的課題の克服に向け、全力で取り組みます。

2023年度は、更なる事業の拡大も有り得る状況であるため、他NPO法人であった不正経理がさらにできない会計シスの改修に向けて取り組みます。

